

1:25,000
0 500 1000m

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平26情復、第211号)」

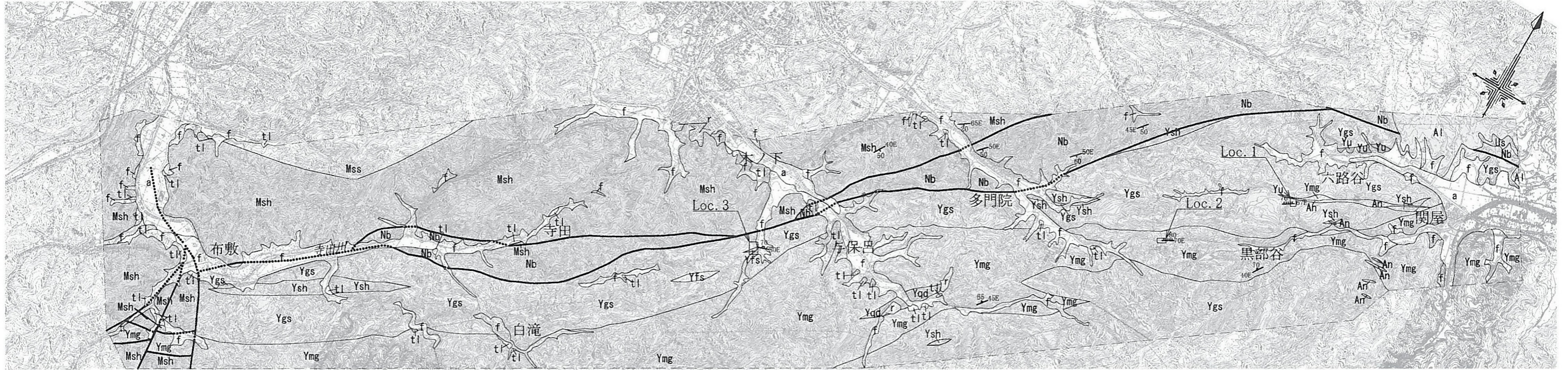
凡例

——	断層
- - - -	伏在断層
- · - ·	推定断層
——	地質境界
20°	層理面の走向傾斜(偏角未補正)
30°E 20°	節理面の走向傾斜(偏角未補正)
30°E 20°	断面面の走向傾斜(偏角未補正)
Loc	詳細調査位置 (ルートマップ、スケッチ等)
□	表示範囲

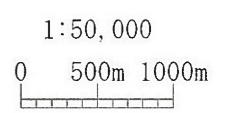
凡例

第四紀	全新世	沖積層	a	礫、砂及び泥
		最低位段丘堆積物	at1	礫、砂及び泥
		崖錐堆積物	dt	礫、砂及び泥
	更新世	新期扇状地堆積物	f	礫、砂及び泥
		低位段丘堆積物	t1	礫、砂及び泥
		中位II段丘堆積物	tm2	礫、砂及び泥
		中位I段丘堆積物	tm1	礫、砂及び泥
第四紀更新世～新第三紀	高位II段丘堆積物	th2	礫、砂及び泥	
	高位I段丘堆積物	th1	礫、砂及び泥	
	岩脈	An	安山岩	
新第三紀中新世	北但層群	丹後層	Tan	安山岩
		Ttb	含礫軽石質凝灰岩・礫岩	
	網野層	Adt	石英安山岩質軽石凝灰岩	
白亜紀後期～古第三紀	宮津花崗岩	Ams	泥岩・砂岩・礫岩	
		Gr	黒雲母花崗岩	

第1.2.3.1.10図 郷村断層周辺の地質図
1.2.3-72



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。
(承認番号 平26情複、第211号)」



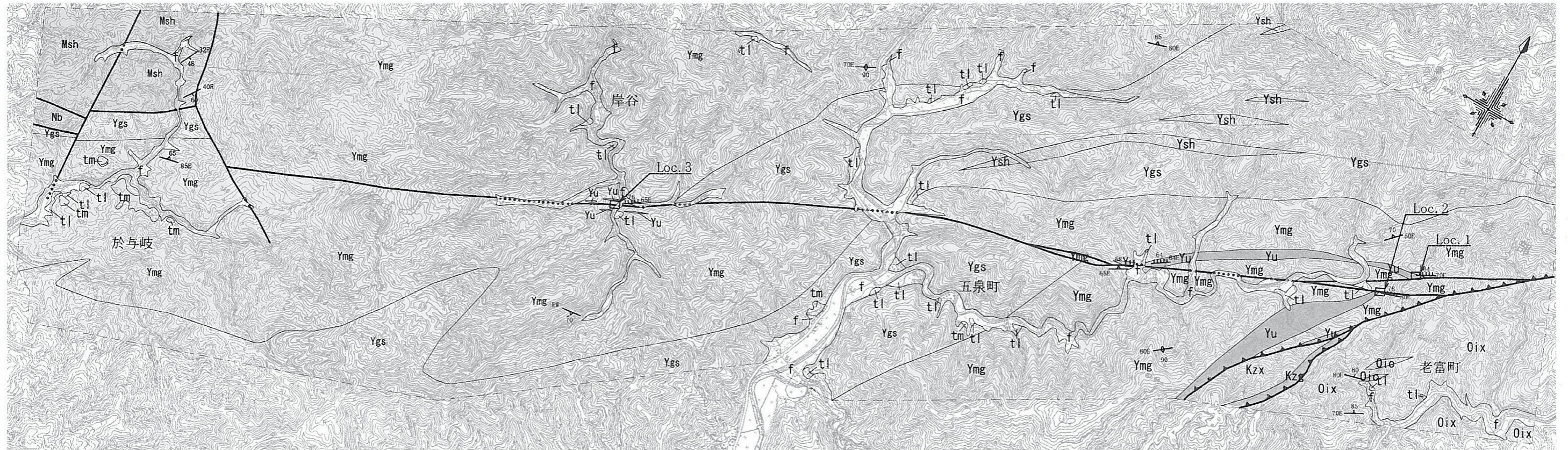
凡 例

—	断層
.....	伏在断層
$\frac{30E}{60}$	層理面の走向傾斜(偏角未補正)
$\frac{30E}{60}$	面構造(へき開面など)の走向傾斜(偏角未補正)
$\frac{30E}{60}$	断層面の走向傾斜(偏角未補正)
$\frac{30E}{60}$	割れ目の走向傾斜(偏角未補正)
Loc	詳細調査位置(ルートマップ、スケッチ等)
□	表示範囲

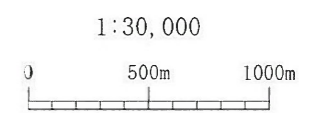
凡 例

第四紀	完新世	人工改変地	r
		沖積層	a 礫, 砂及び泥
		新期扇状地堆積物	f 礫, 砂及び泥
更新世	低位段丘堆積物		tl 礫, 砂及び泥
新第三紀 中新世	青葉山安山岩類	下部	Al 凝灰角礫岩
		岩脈	An 安山岩
		内浦層群	塩沢峠礫層・砂岩部層
三疊紀後期	難波江層群		Nb 砂岩及び頁岩
ペルム紀	舞鶴帯	舞鶴層群	Mss 砂岩
			Msh 頁岩
			Ysh 頁岩
			Ygs 緑色岩類
		夜久野	Yfs 珪長岩
		オフィオライト	Yqd 石英閃緑岩
	Ymg 変斑れい岩		
		Yu 超苦鉄質岩	

第1.2.3.1.11図 多門院リニアメント周辺の地質図



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。
(承認番号 平26情複、第211号)」



凡例

- 断層
- 伏在断層
- ▲ 地質体・コンプレックスの境界
- 30° 50' 面構造 (へき開面など) の走向傾斜 (偏角未補正)
- 30° 50' 断層面の走向傾斜 (偏角未補正)
- Loc 詳細調査位置 (ルートマップ、スケッチ等)
- 表示範囲

凡例

第四紀	完新世	新期扇状地堆積物	f	礫、砂及び泥
	更新世	低位段丘堆積物	tl	礫、砂及び泥
		中位段丘堆積物	tm	礫、砂及び泥
ペルム紀 中～後期	超丹波帯	上月層	Kzx	泥質混在岩及び頁岩 (砂岩、チャートを伴う)
			Kzg	緑色岩類 (チャートを伴う)
		大飯層	Oix	頁岩 (砂岩・チャートを伴う)
			Oic	チャート
三疊紀後期	難波江層群		Nb	砂岩及び頁岩
		舞鶴層群	Msh	頁岩
ペルム紀	舞鶴帯		Ysh	頁岩
		夜久野	Ygs	緑色岩類
		オフィオライト	Ymg	変斑れい岩
			Yu	超苦鉄質岩

第1.2.3.1.12図 岸谷リニアメント周辺の地質図



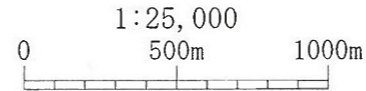
地形面の凡例

tm	中位段丘面
tl	低位段丘面
f	新期扇状地面
dt	崖錐面
a	沖積面
r	人工改変地

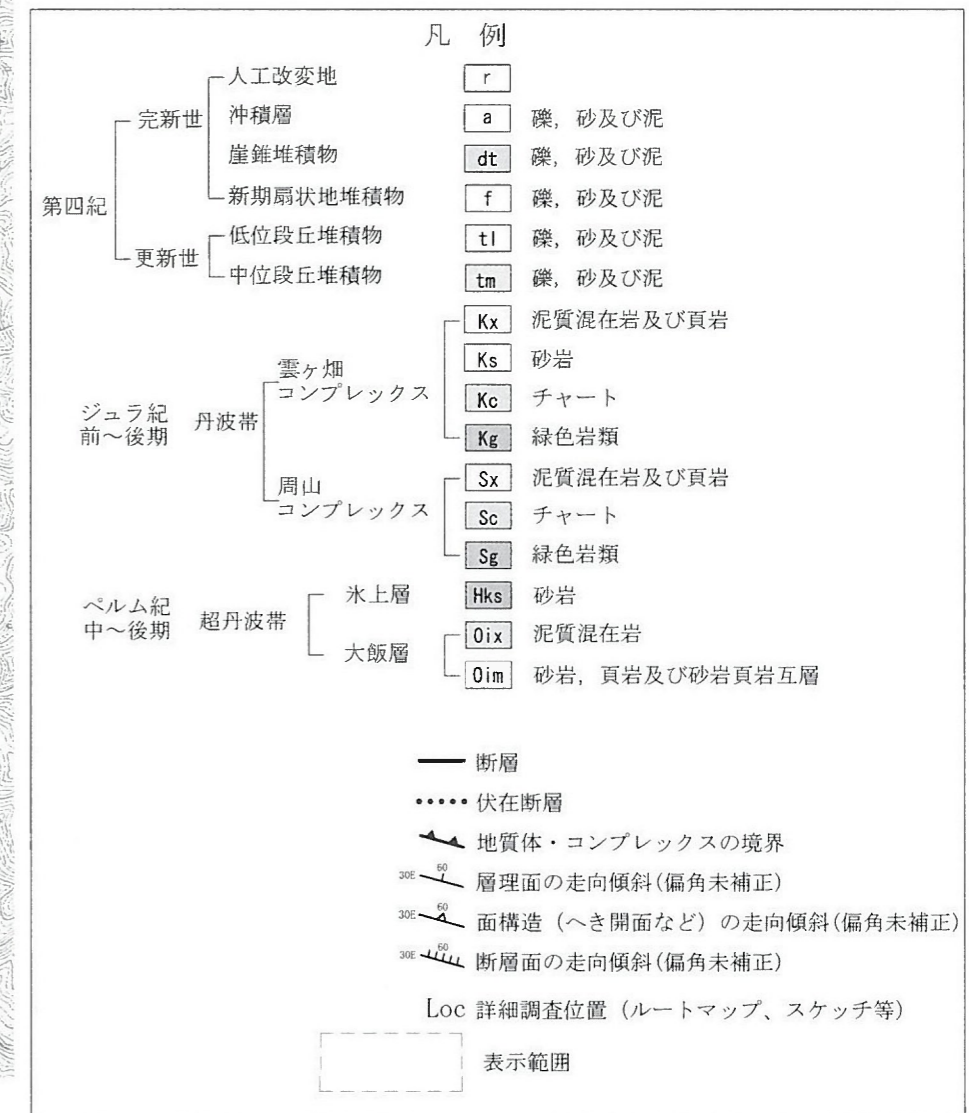
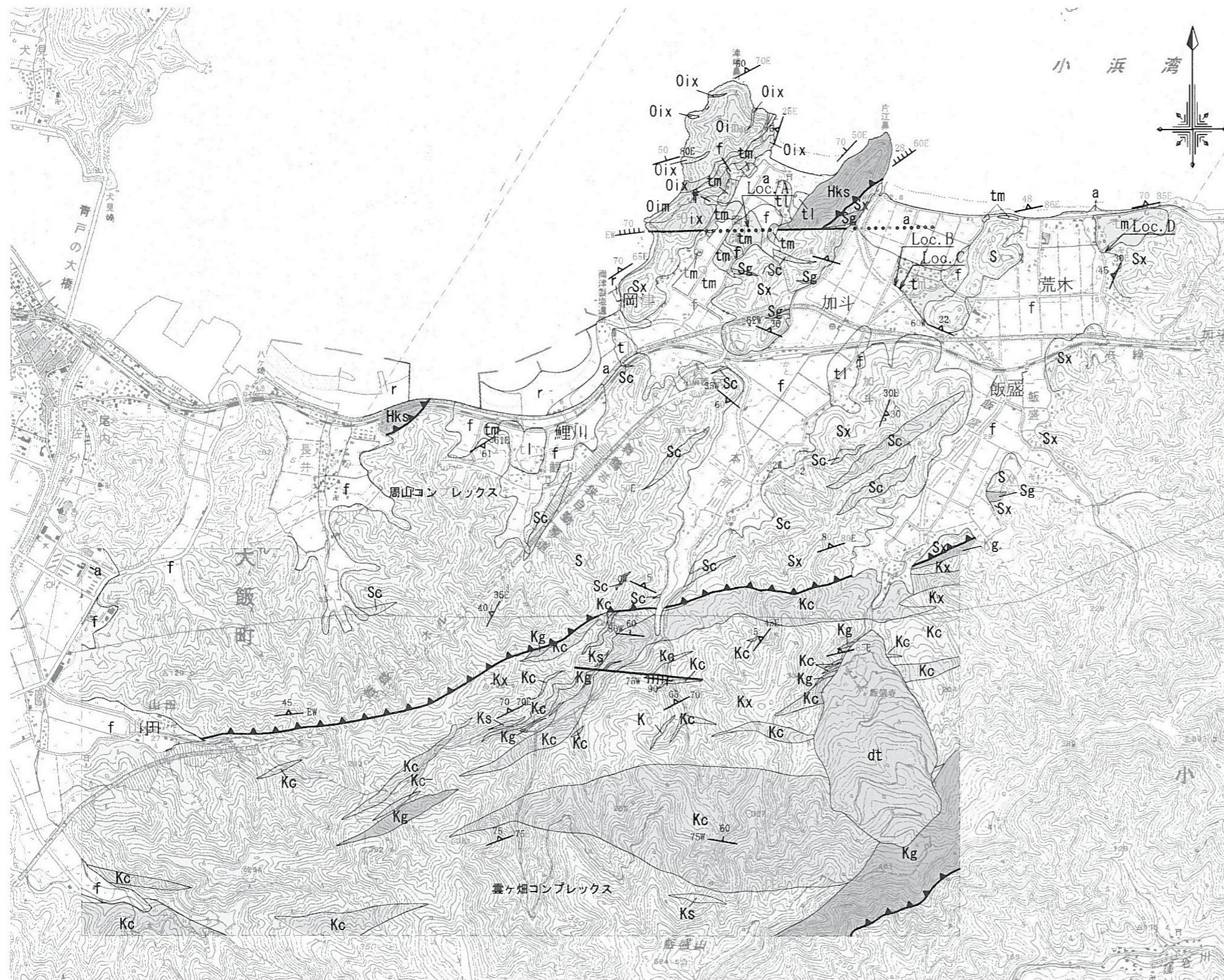
変動地形・リニアメントの凡例

	Dランク
短線は低い側を示す。矢印は尾根、谷の屈曲方向を示す。短線がないリニアメントは両側で高度の不連続が認められないもの。	
	谷の屈曲
I	リニアメント番号
Loc	詳細調査位置 (ルートマップ、スケッチ等)
	表示範囲

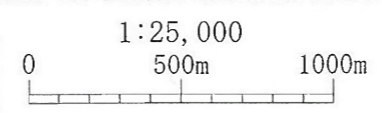
「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平26情複、第211号)」



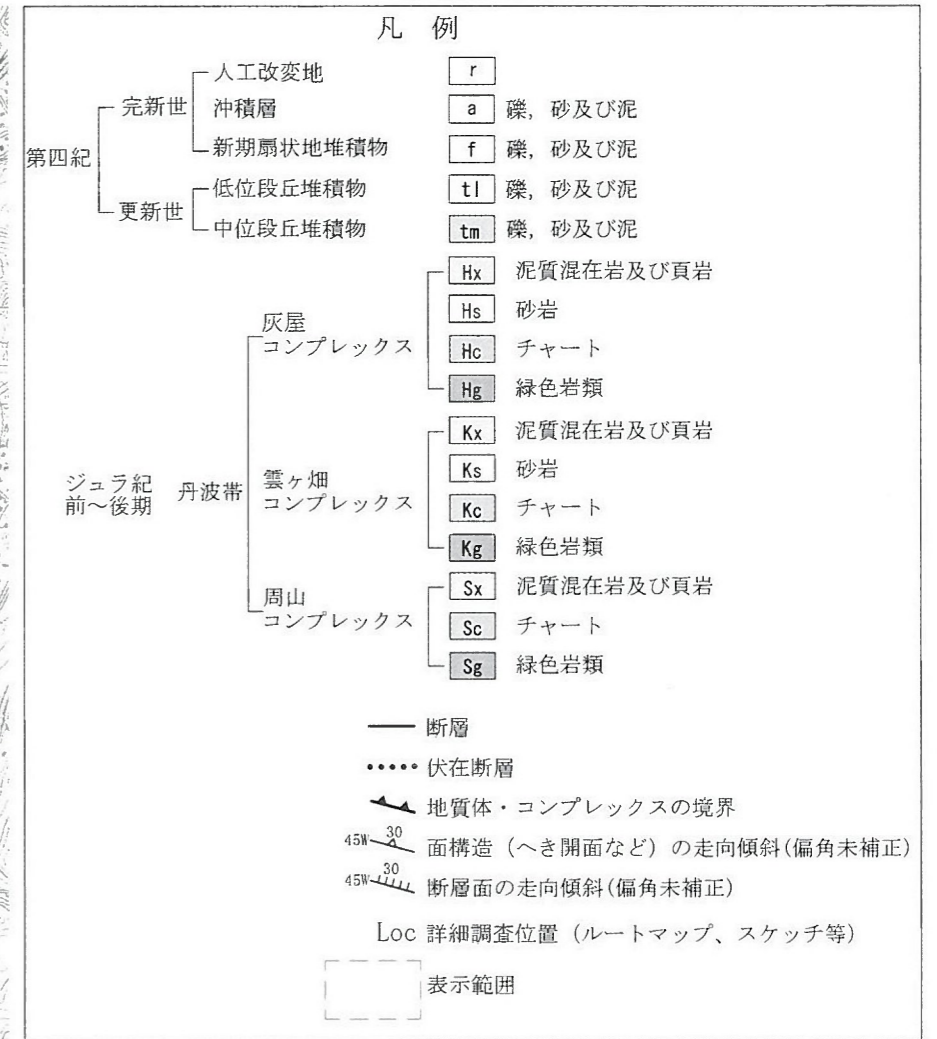
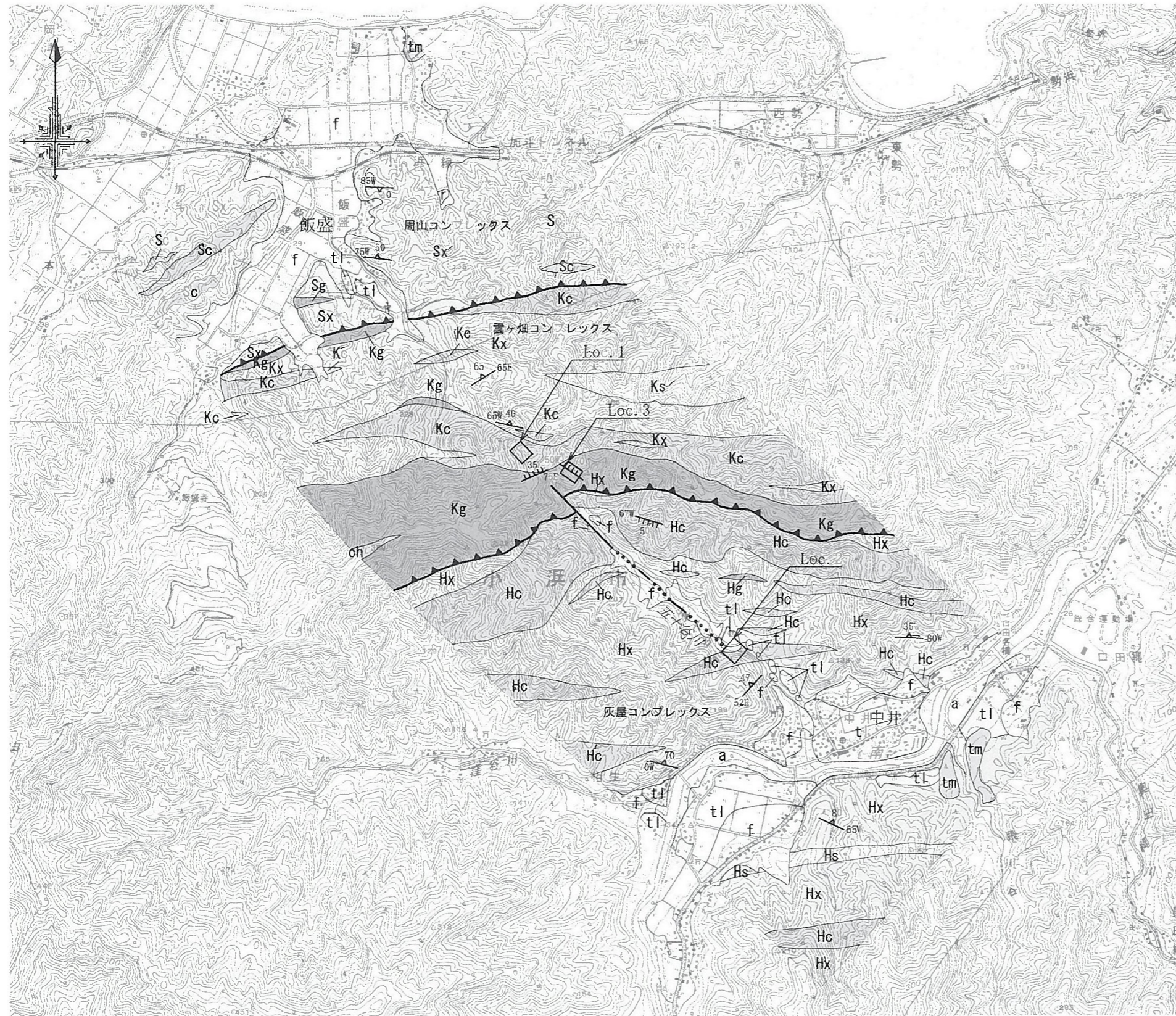
第1.2.3.1.13図 加斗リニアメント周辺の地形調査結果



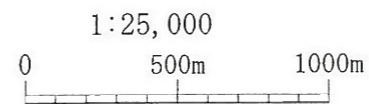
「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平26情複、第211号)」



第1.2.3.1.14図 加斗リニアメント周辺の地質図



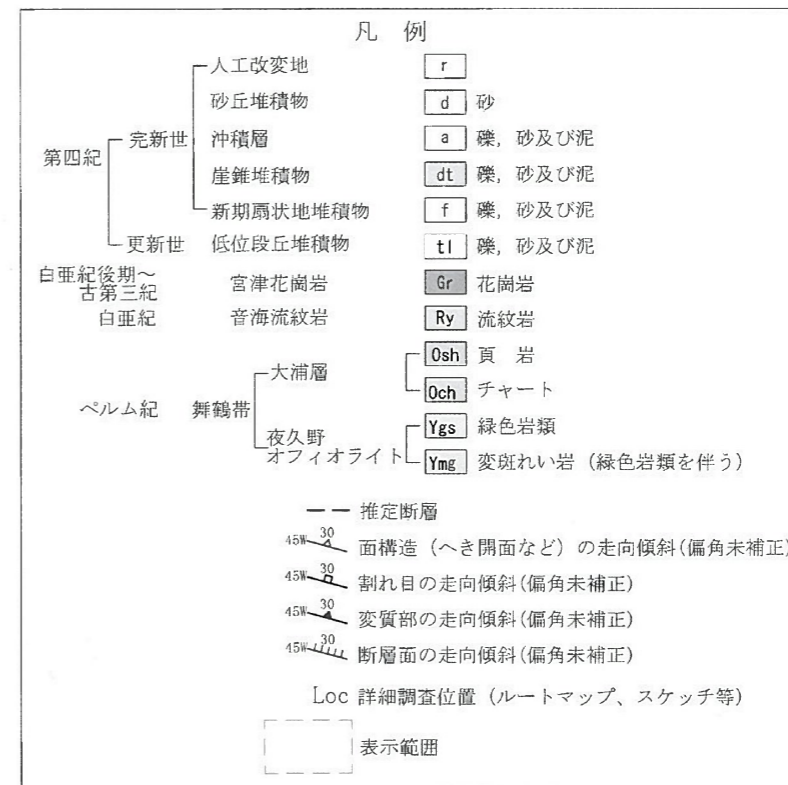
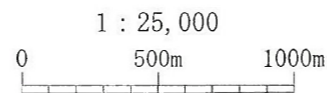
「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。
(承認番号 平26情複、第211号)」



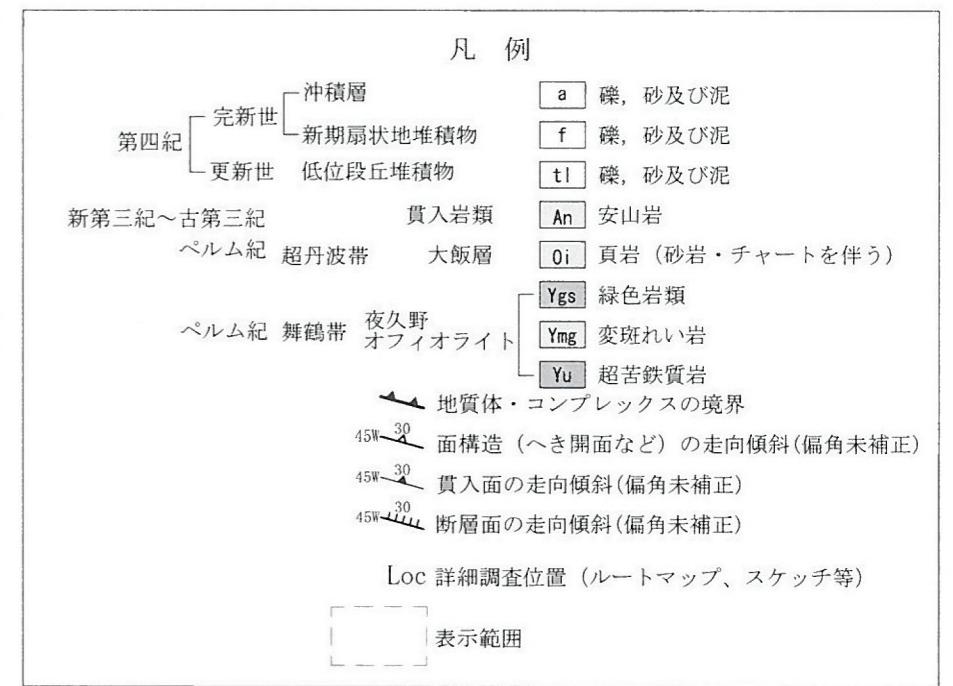
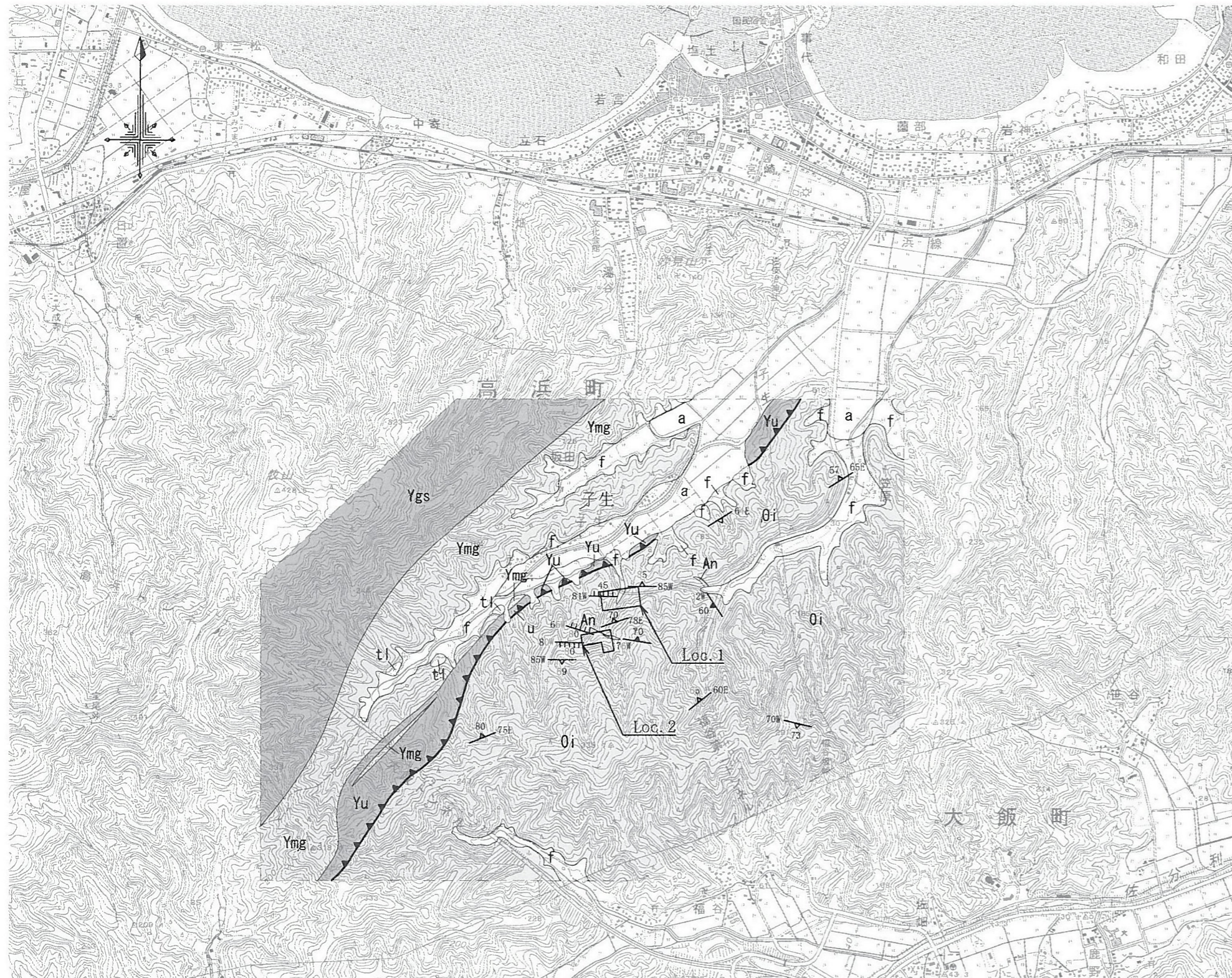
第1.2.3.1.15図 中井リニアメント周辺の地質図



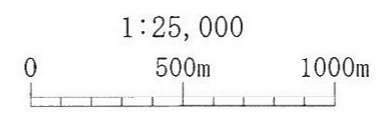
「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。
(承認番号 平26情複、第211号)」



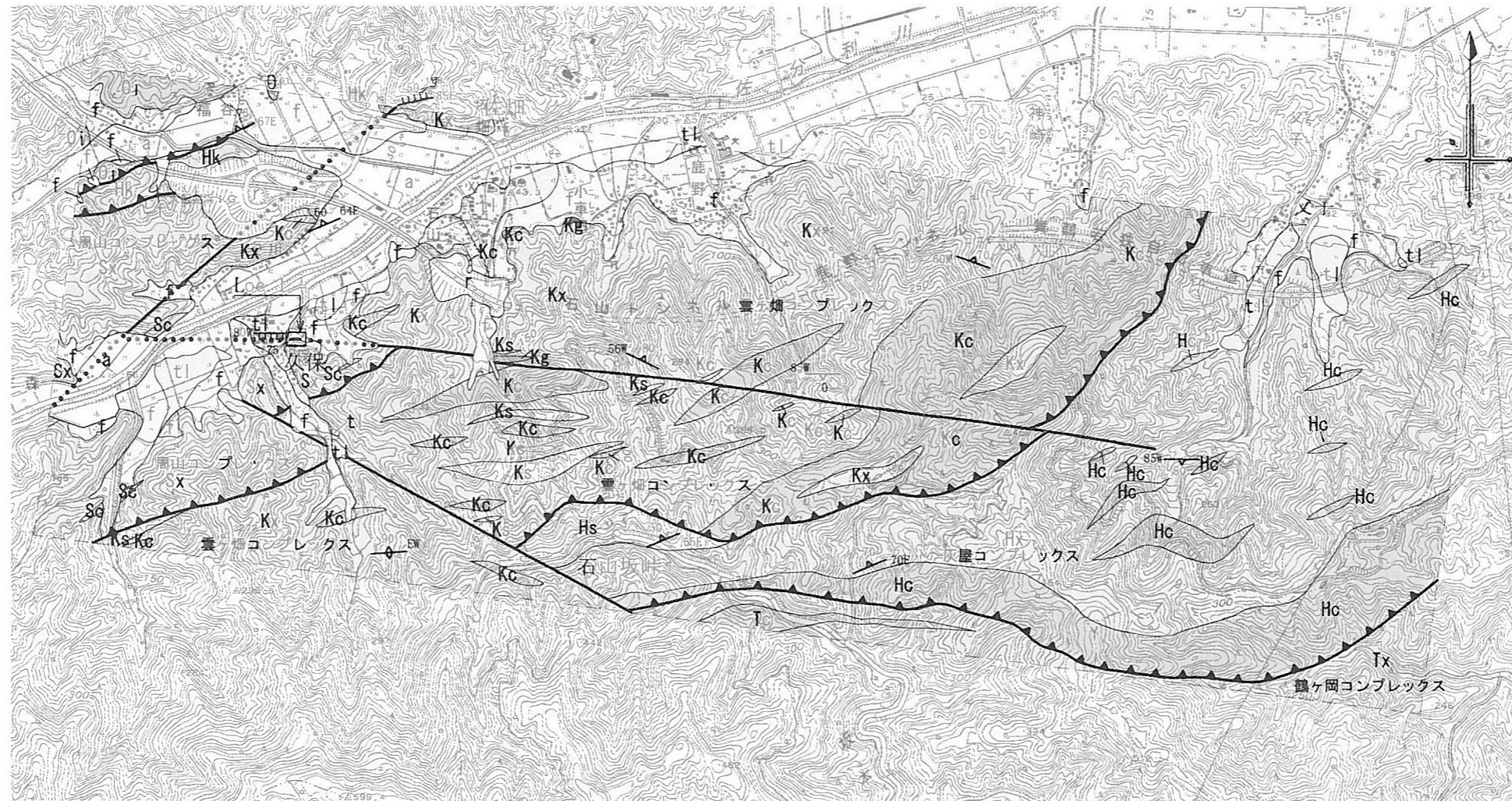
第1.2.3.1.16図 三浜峠リニアメント周辺の地質図



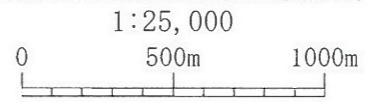
「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。
(承認番号 平26情複、第211号)」



第1.2.3.1.17図 子生リニアメント周辺の地質図



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。
(承認番号 平26情複、第211号)」



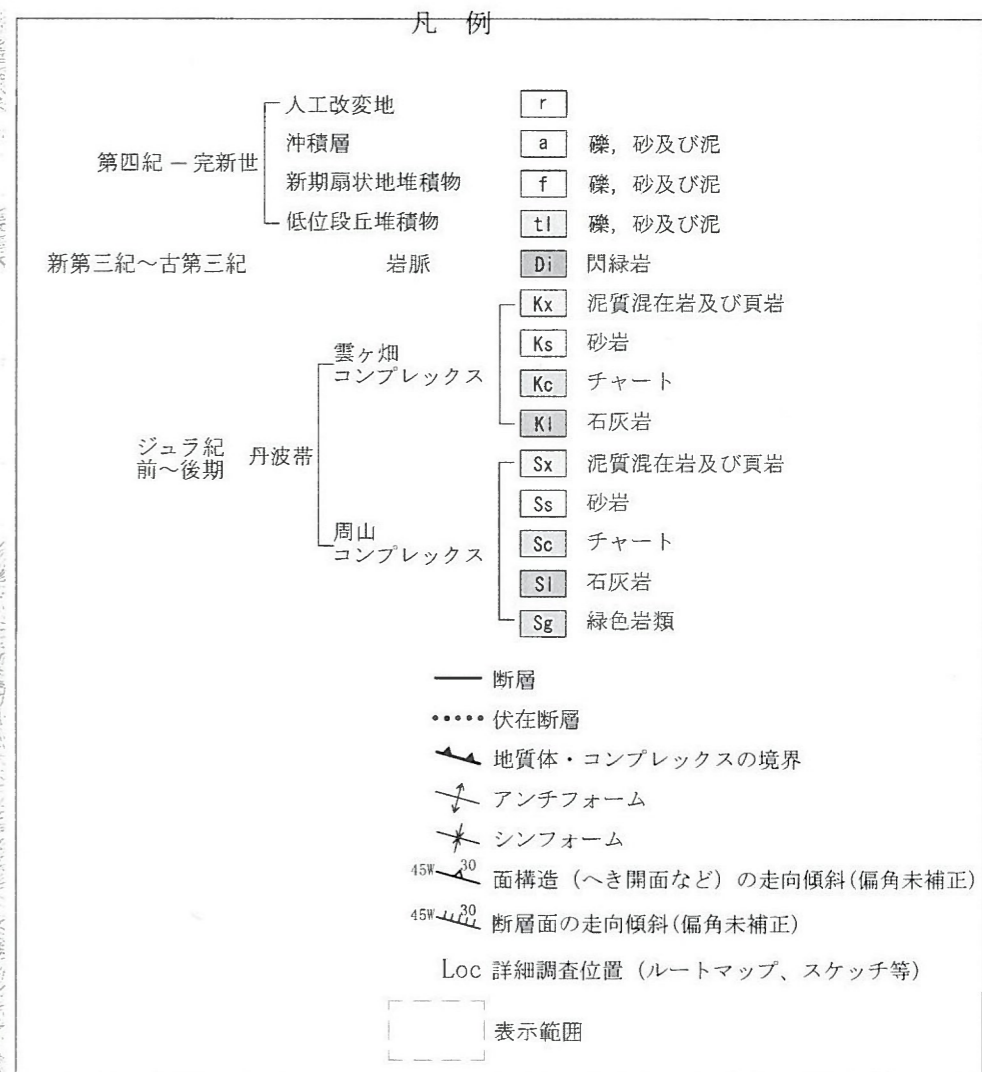
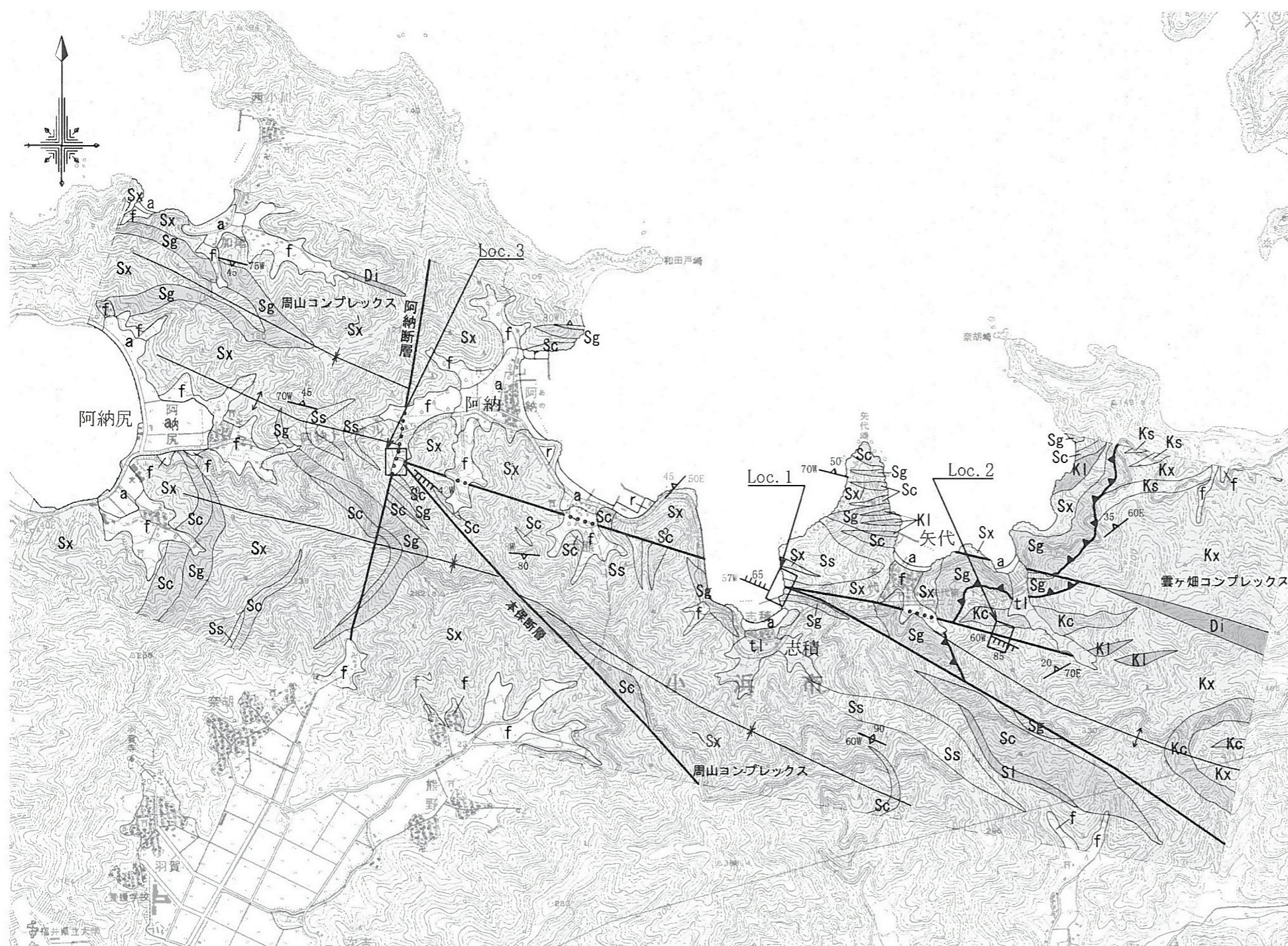
凡 例

—	断層
.....	伏在断層
▲▲▲	地質体・コンプレックスの境界
30°	面構造（へき開面など）の走向傾斜(偏角未補正)
30°	断層面の走向傾斜(偏角未補正)
Loc	詳細調査位置（ルートマップ、スケッチ等）
□	表示範囲

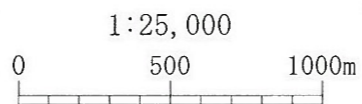
凡 例

第四紀	人工改変地	r	
	完新世 沖積層	a	礫、砂及び泥
	新期扇状地堆積物	f	礫、砂及び泥
	更新世 低位段丘堆積物	tl	礫、砂及び泥
ジュラ紀 前～後期	鶴ヶ岡 コンプレックス	Tx	泥質混在岩及び頁岩
		Tc	チャート
		Hx	泥質混在岩及び頁岩
	灰屋 コンプレックス	Hs	砂岩
		Hc	チャート
		Kx	泥質混在岩及び頁岩
	雲ヶ畑 コンプレックス	Ks	砂岩
		Kc	チャート
		Kg	緑色岩類
	周山 コンプレックス	Sx	泥質混在岩及び頁岩
Sc		チャート	
ペルム紀 中～後期	超丹波帯	Hk	砂岩（頁岩を伴う）
		Qi	頁岩（砂岩・チャートを伴う）

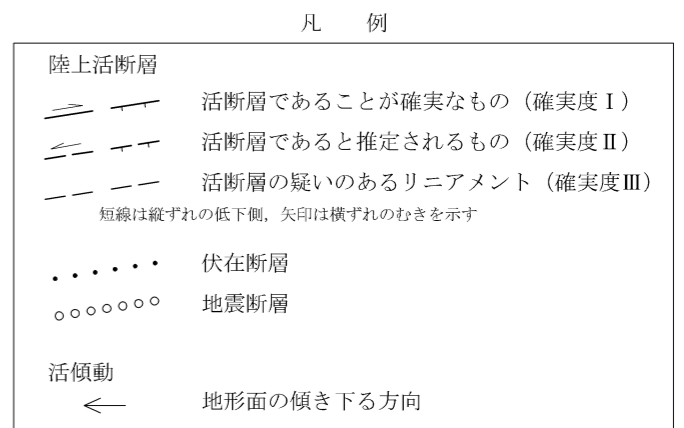
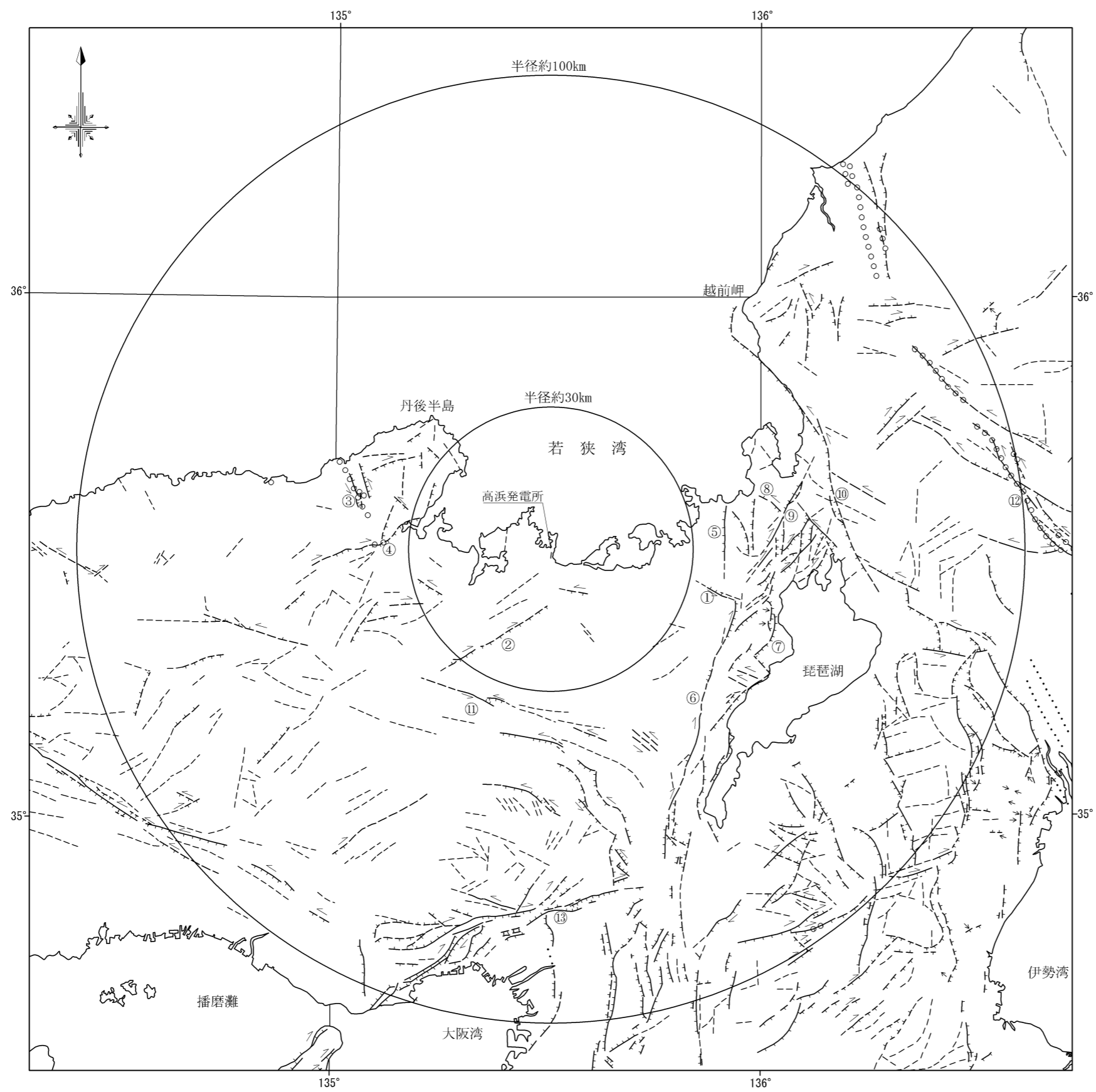
第1.2.3.18図 石山坂峠北リニアメント周辺の地質図



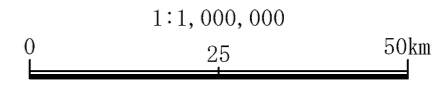
「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平26情複、第211号)」



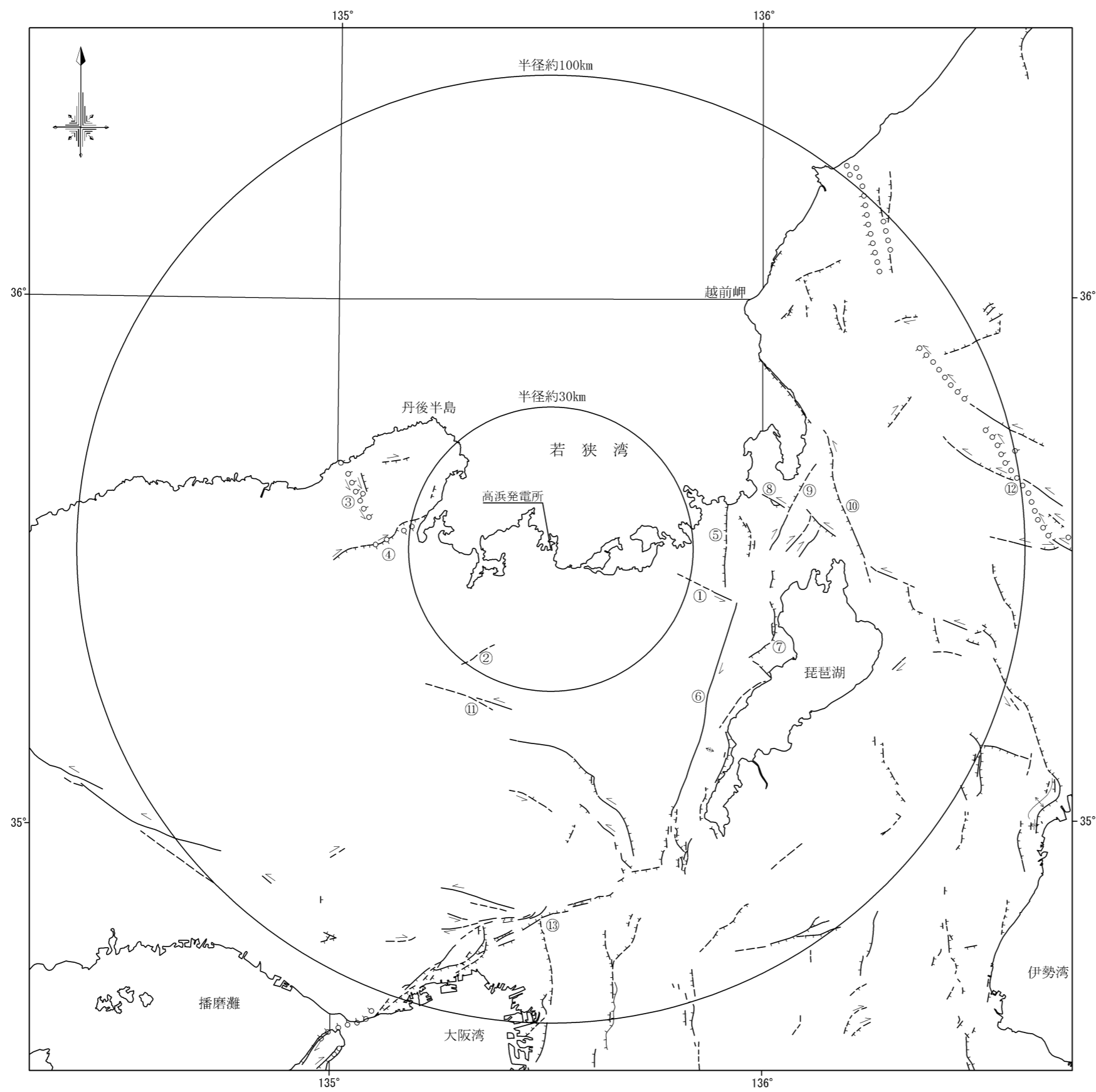
第1.2.3.1.19図 矢代リニアメント周辺の地質図



①	熊川断層
②	上林川断層
③	郷村断層
④	山田断層
⑤	三方断層
⑥	花折断層
⑦	琵琶湖西岸断層系
⑧	野坂断層
⑨	敦賀断層
⑩	柳ヶ瀬断層
⑪	三峠断層
⑫	濃尾地震断層系
⑬	有馬-高槻構造線



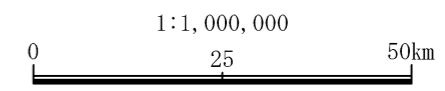
第1.2.3.1.20図 敷地周辺陸域の活断層分布図「[新編]日本の活断層」(半径約100km)



凡 例

○○○○○○	地震断層
————	活断層 (主として第四紀後期に活動したもの)
- - - - -	推定活断層 (同上)
○○○○○→	上記の断層における変位の向き (矢印は走向ずれの方向, ケバは落下側を示す)
↕	第四紀後期層の背斜軸

①	熊川断層
②	上林川断層
③	郷村断層
④	山田断層
⑤	三方断層
⑥	花折断層
⑦	琵琶湖西岸断層系
⑧	野坂断層
⑨	敦賀断層
⑩	柳ヶ瀬断層
⑪	三峠断層
⑫	濃尾地震断層系
⑬	有馬-高槻構造線

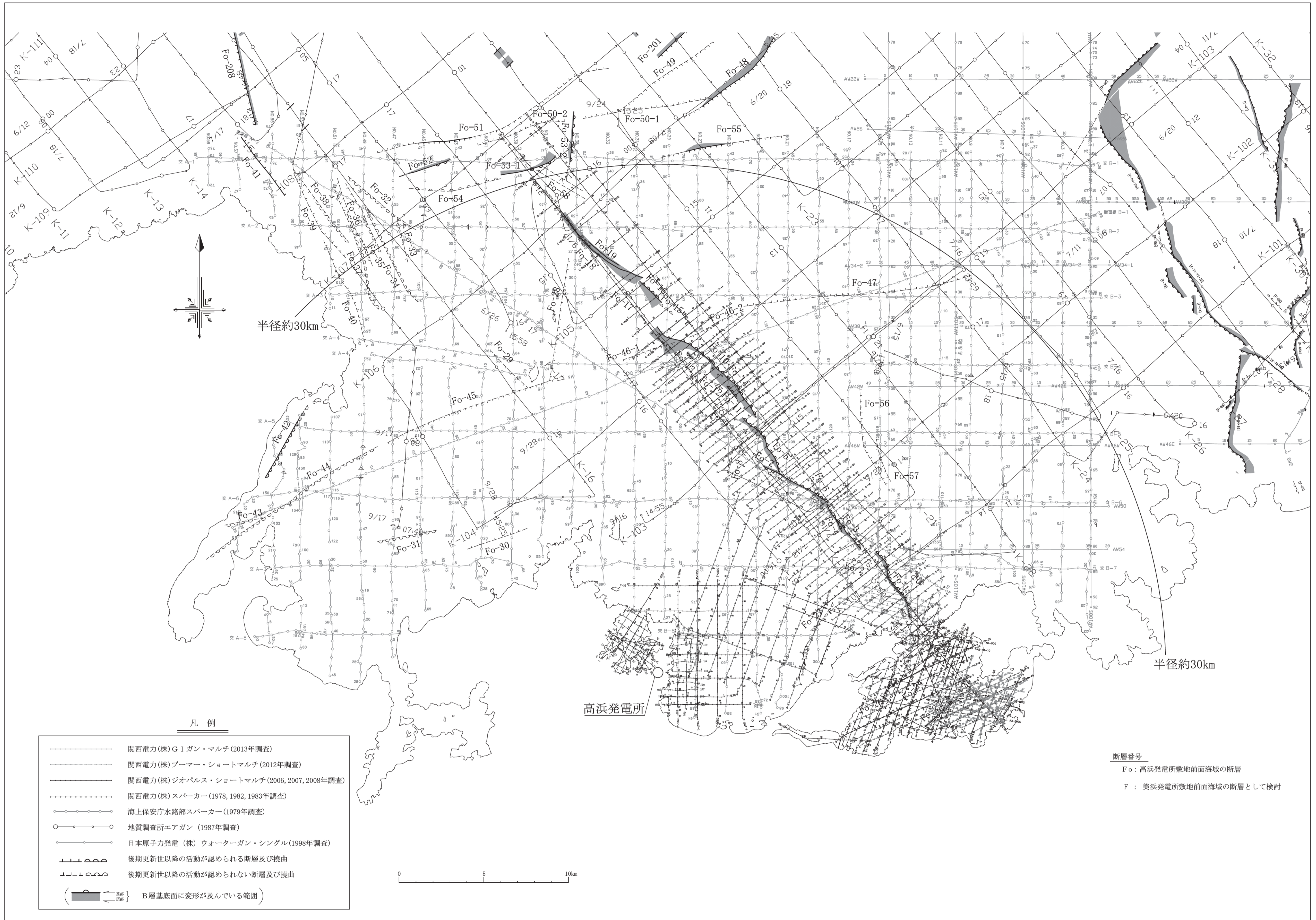


※ 『50万分の1活構造図「岡山」「金沢」「京都(第2版)」』より作成

第1.2.3.1.21図 敷地周辺陸域の活断層分布図「活構造図」
(半径約100km)



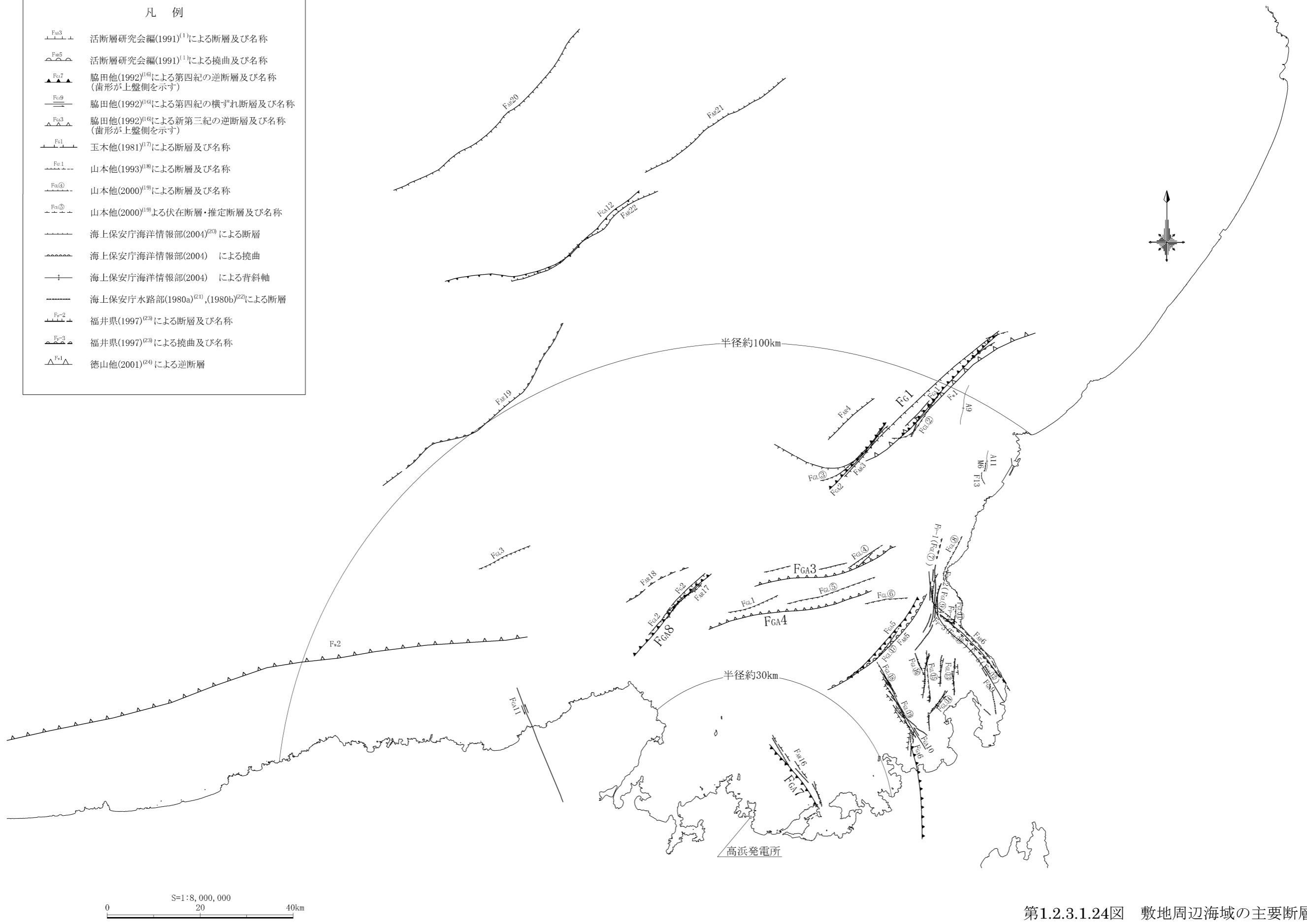
第1.2.3.1.22図 敷地前面海域の海底地質図



第1.2.3.1.23図 敷地前面海域の断層分布図

凡 例

	活断層研究会編(1991) ⁽¹⁾ による断層及び名称
	活断層研究会編(1991) ⁽¹⁾ による撓曲及び名称
	脇田他(1992) ⁽¹⁶⁾ による第四紀の逆断層及び名称 (歯形が上盤側を示す)
	脇田他(1992) ⁽¹⁶⁾ による第四紀の横ずれ断層及び名称
	脇田他(1992) ⁽¹⁶⁾ による新第三紀の逆断層及び名称 (歯形が上盤側を示す)
	玉木他(1981) ⁽¹⁷⁾ による断層及び名称
	山本他(1993) ⁽¹⁸⁾ による断層及び名称
	山本他(2000) ⁽¹⁹⁾ による断層及び名称
	山本他(2000) ⁽¹⁹⁾ による伏在断層・推定断層及び名称
	海上保安庁海洋情報部(2004) ⁽²⁰⁾ による断層
	海上保安庁海洋情報部(2004) による撓曲
	海上保安庁海洋情報部(2004) による背斜軸
	海上保安庁水路部(1980a) ⁽²¹⁾ , (1980b) ⁽²²⁾ による断層
	福井県(1997) ⁽²³⁾ による断層及び名称
	福井県(1997) ⁽²³⁾ による撓曲及び名称
	徳山他(2001) ⁽²⁴⁾ による逆断層



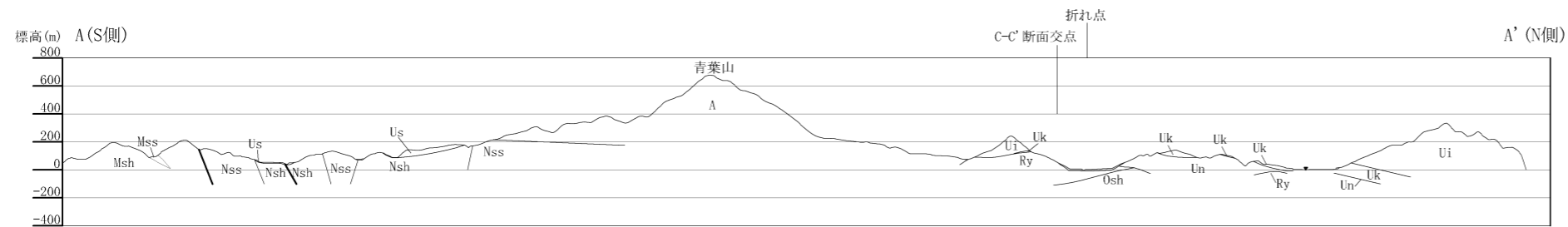
第1.2.3.1.24図 敷地周辺海域の主要断層分布図

地質凡例

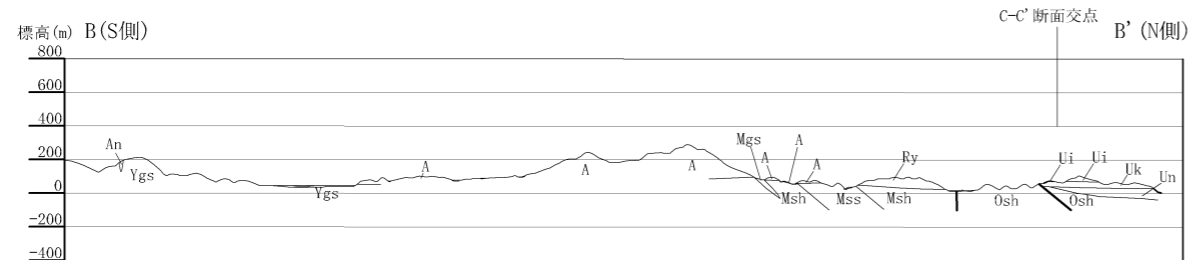
地質時代	記号	地層名等	主要構成地層	
新生代	第四紀	更新世	r 人工改変地	
		完新世	a 沖積層	礫, 砂, シルト, 粘土
			f 新期扇状地堆積物	礫, 砂, シルト
			tl 低位段丘堆積物	礫, 砂, シルト
	新第三紀	A 青葉山安山岩類	安山岩, 凝灰角礫岩	
		O 大山安山岩	安山岩, 凝灰角礫岩	
		Qd 石英閃緑岩	石英閃緑岩	
		Ui 今戸鼻層	安山岩, 凝灰角礫岩	
		内浦層群	Uk 神野浦頁岩部層	泥岩
			Us Un 塩浜峠礫岩・砂岩部層 名島火山岩部層	礫岩, 砂岩 安山岩, 凝灰角礫岩
中生代	白亜紀	Ry 音海流紋岩	流紋岩, 流紋岩質凝灰岩	
	三畳紀	Nss	難波江層群	砂岩
		Nsh		頁岩
		Na1		砂岩頁岩互層
古生代	ペルム紀	UTsh 大飯層 (UT2コンプレックス)	頁岩	
		舞鶴層群	Mss	砂岩
			Msh	頁岩
			Mgs	緑色岩類
	Osh 大浦層	頁岩		
	ペルム紀	夜久野オフィオライト	Ysh	頁岩
			Yfs	珪長岩
			Ygd	石英閃緑岩
			Ygs	緑色岩類
			Ymg	変斑れい岩
Yu			超苦鉄質岩	
新第三紀～白亜紀後期	An	岩脈	安山岩	

断面位置は第1.2.3.2.1図に示す。

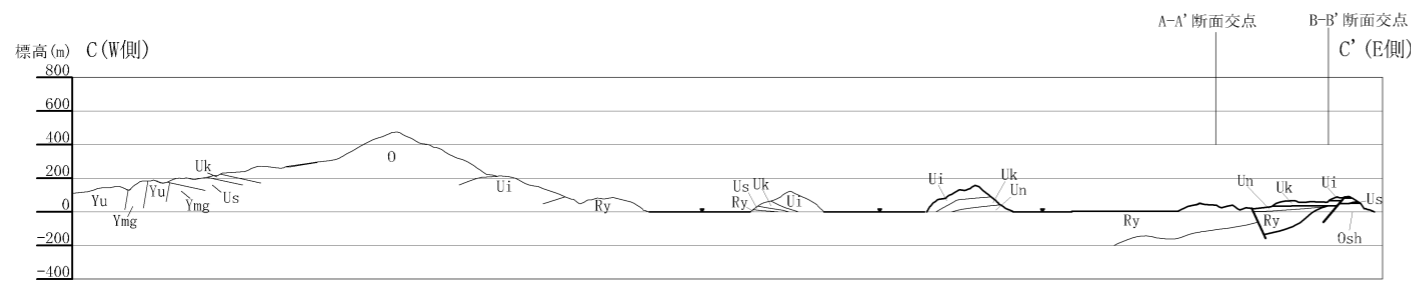
—— 地質境界
—— 断層



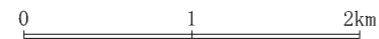
高浜 A-A' 断面



高浜 B-B' 断面



高浜 C-C' 断面



第1.2.3.2.2図 敷地近傍の地質断面図